

ガバナー月信

Vol.12

2003.6.1

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES

国際ロータリー第2840地区

2002-2003年度

ガバナー 矢野 亨

376-0011 群馬県桐生市相生町5丁目493

社会福祉法人希望の家 - のぞみの苑内

TEL 0277-55-5288 FAX 0277-55-5289

yano.gov@kibounoie.or.jp

<http://www.kibounoie.or.jp/gov>

題字 矢野 亨

年々歳々花相似
手々歳々人不同



CONTENTS

ガバナーメッセージ・・・・・・・・・・	2
RID 2840 教育問題講演会 「こども達の教育はいま!!」・・・・・	8
地区協議会の報告・・・・・・・・・・	10
女性会員増強セミナー・・・・・・・・・・	11
第3回ロータリーの森づくり・・・・・・・・	12
館林ロータリークラブ 創立45周年記念例会を終えて・・	13
富岡ロータリークラブ 創立40周年記念記念事業報告・・	14
新田ロータリークラブ 創立20周年記念式典報告・・・・・	15
交換派遣学生オリエンテーション報告・・	16
米山学友会観桜会報告・・・・・・・・・・	17
新規米山オリエンテーション報告・・・・・	17
新会員紹介・物故者・・・・・・・・・・	18
文庫通信・・・・・・・・・・	19
出席報告、6月の予定・・・・・・・・・・	20



ガバナーメッセージ



ガバナーメッセージ
最終号にあたって

2840地区

ガバナー 矢野 亨

矢野年度の月信も最終号となりました。

1) ロータリー所感

2005年に創立100周年を迎える
ロータリークラブは、親睦団体であり、
また奉仕を目指す団体であります。我
が国はアメリカに次いで世界第2位の
ロータリー大国に発展しました。この事
は、もちろん我が国は太平洋戦後の素晴
らしい経済発展に負う所、大であります
が、一方でロータリークラブの持つ本質
が我が国民性にうまく合致したという事
が言えるかと思えます。すなわち、ロー
タリーの本質は職業奉仕にあるという考
え方、

He profit most who
service best.“奉仕する
人、最も良く報われる”という思想は、儒
教における「積善の家必ず余慶あり」とい
う思想と相通するものがあります。ロー
タリー哲学というものがあるとすれば、儒
教的、仏教的哲学に慣れた日本人に
受け入れやすい素地があったのかも知れ
ません。

我が国のロータリーの性格を規定付け
るものとして、米山梅吉氏がこのロータ
リーを日本に持って来て初めて作った東
京ロータリークラブは、その会員に見ら
れるように、我が国の経済界の当時の重

題字によせて

年々歳々花相似

年々歳々人不同 (唐詩選)

年々歳々花は相似たれども、年々歳々人は同じからず。
年々、花は同じような花を咲かせるけれども、それを観賞する人間というのは、毎年同じではないのだ。このことは、花は同じような花を咲かせるかもしれない。それは、毎年変わらぬ花の色でもあろう。しかし、人間の方は同じではない。そこに、見る人の変化がある。変わらない普遍のものと、時に応じて変化する人間との取り合わせは、ロータリーで言えば、奉仕の理想という真理は変わらないけれども、年と共に人間が変わるごとく、ロータリーも変化を遂げるものだということを言っているようだ。

鎮が名を連ねております。そのスタイルが、他の地域にも次第に広がりを見せ、それぞれの地域の経済界の指導者の集まりといった性格が強く滲みでているのが、日本のロータリーの構造的な基盤となっているようです。一種のステータスとしてのロータリークラブ、その性格はロータリークラブの会員は一人一業種という厳しい規定によって一層増幅された感がありますが、しかしこれは最近の規定の変更によって破られました。また、ロータリークラブの拡大や増強が推奨され、その度にロータリアンの質か量かといった事が議論されてきました。拡大を続けるならば、当然の事ながら質の問題が起きてきます。しかしこれは一体何をもちて質と言えるかというのが問題です。ロータリーに入会してロータリーの綱領を理解し、納得し、個人がそのために努力されるならば、これはもう立派なロータリアンであると言えます。むしろ、経済的に恵まれた立場の会員であっても、ロータリーの本質を理解せず、名を求めただけのロータリー会員であり、奉仕の実践に消極的な人があるとすれば、その人は真のロータリアンとは言えないと思います。

2) ビチャイ・ラタクル会長の奉仕感

R.I. 会長ビチャイ・ラタクル氏は、“慈愛の種を播きましょう”という大変わかりやすいテーマを掲げられました。これは我々東洋人にとっては、心にフィットするテーマでもあります。ラタ

クル氏は、その種をまず自らの心に播き育て、家族に、ロータリーに、地域に、さらに国際間に播くべきであるという考えを立てられましたが、これこそ儒教における「大学」の説く「修身齐家治国平天下」の思想と一致する事を、昨年私の月信でも述べましたが、このことは我々年配の者であればすぐに気付くのです。アナハイムでもガバナー会の前川議長がこの事を指摘されたのも当然であります。その後、本年2月「ロータリーの友」に佐藤千寿氏が、同様の事を指摘されております。ラタクル氏の何代か前の御先祖は、華僑としてバンコクに住み、後にタイ国籍を取られたという話を聞き、やはり儒教的思想の背景があったのだと、感心した所です。

ラタクル会長は、「ロータリーは簡素であれ、又、草の根的であれ。」と提唱しています。ロータリーは近々、100年を迎えますが、1世紀の間に164ヶ国、約120万人と肥大化して参りました。それと共に各種の垢も身に付けて来た感があります。即ち、その組織の肥大化に伴って事務レベルなど各種の仕事も多くなって来るのは当然の事であり、そのことから好ましい表現ではありませんが、官僚化と言葉が出てくるのだと思います。

この時、R.I. 会長の言う「簡素であれ」という言葉は、千金の重みを感じるのであります。個人一人一人が原点に帰って草の根的活動を考える良い機会であると言えます。

又、ラタクル会長は、自らの体験を述べ



られて、バンコクで孤児の施設の海水浴のボランティアに参加されました。初めはボランティアに消極的であったラタクル会長が、担当した孤児と心の交流が出来、お互いに涙を流して別れを惜しんだ体験を話され、自分は初めて、これがロータリーなのだと言っています。

私は、正に我が意を得たり、と思いました。この行動そのものが大切なのであってラタクル会長の奉仕の行動がロータリーの精神を蘇らせたのだと痛感しました。醵金をする事もロータリーの奉仕ではありますが、醵金の行動だけに留まらず、実際に奉仕活動に身を投じて行動する事が、その人の奉仕の意識を大きく変容させると思うのです。

私の古い友人に世界的な大会社の社長がいましたが、彼と四方山話をした時、彼は夫婦二人だけの生活で奥さんがボランティア活動をしていたそうであります。ある日、奥さんに誘われて一日、奥さんと共にボランティア活動に参加した所、彼はあの日のボランティア活動が大変私の心を変えたと、しみじみと述懐しておりました。私は、「そうだろう」と、返事をしたのですが、私自身、重症心身障害児の施設に関わりを持ち、御世話させて頂いておりますので、一日一回でも重症児の顔を見ないと、心が落ち着かないのです。また、お互い子供達と目を合わせる事によって一日の疲れが癒される事を毎日体験しているのです。その意味で、私は、他のロータリアンより恵まれていると言え

るかもしれません。

ロータリアンの皆さん。機会があれば、出来るだけ奉仕の実践に足を踏み入れてみませんか。そこには、素晴らしい世界が開かれる事が約束される事でしょう。

3) 第2840地区における教育問題への取り組み

ア) はじめに

私が2840地区ガバナーを諸般の事情から御引き受けした時、一年間という限られた期間の中で一体何が出来るだろうかと思ったのですが、私に出来る事として「子供達の教育問題」について実践的活動を推進してみても、という考えに落ち着きました。

この事は私が現在、日本学校保健会会長の職にあり、医師会活動を通じて長年の間、学校保健の領域に携わってきているので、その経験を活かすことが出来るだろうという読みがあったのです。当初は、全国組織の会長職にある私がガバナーを兼務することは全く不可能ではないかと考えましたが、知人、友人から「そういう忙しい人でもガバナーがやれるようにリーダーシッププランが出来ているのだ。」と説得されました。

イ) こども奉仕委員会の新設

国際協議会から帰って昨年3月のPETSの時、新会長さん方に子供達に対する教育問題への新しい取り組みについて説明し、新世代奉仕委員会の中に小委員会として「こども奉仕委員会」の新設をお願い

しました

従来、新世代奉仕委員会の活動は、0歳～30歳までを対象としていますが、現在は高校生を対象とするインターアクトクラブ、社会人を対象としたローターアクトクラブ及びライラ研修があり、14歳以上に対しては一応、対応が出来るものの、0歳～14歳の間が全く空白であります。

折しも、昨年4月から小学校中学校において「新学習指導要領」が実施され、週5日制となり、土曜の休みに総合学習の時間が設定されることとなります。この総合学習の時間の活用方法が問題となっています。それは、従来の偏差値教育から脱皮して新しく社会教育、奉仕活動(小中学校は年間2週間)が推奨されることになったのです。教育現場では、その切り替えに戸惑いがあるようですが、我々ロータリークラブが新設した「こども奉仕委員会」が、率先して地域の小中学校にアプローチをして、社会教育や奉仕活動の手助けをして欲しいというのが、狙いであります。

ウ) 奉仕体験作文コンクールについて。

まず、こども奉仕委員会の具体的活動の第一歩として、私達は県教育委員会の協力を得て、児童生徒の「奉仕活動体験作文コンクール」を行いました。幸い各ロータリークラブの賛同を得て、全県的に応募作文が集まった。私達は当初、200～300編も集まれば良いと考えていた所、なんと1200編の応募がありました。

まさに嬉しい悲鳴です。作文内容はいずれも兄たり難く、弟たり難い作品ばかりで、選考に難渋しましたが最終選考では県教委員会の方々の御助力を得、10月の地区大会で表彰式を行う事ができました。表彰は小学校低学年の部と高学年の部、中学校の部の3部に分け、それぞれ県知事賞(計3名)、県教育長賞(計3名)、ガバナー賞(低学年8名、高学年26名、中学30名、計64名)、総合計70名を表彰しました。記念撮影を行い、選に洩れた応募生徒にもロータリーマークの入った記念のボールペンを全員に贈呈しました。

このように、第一回の奉仕体験作文コンクールは成功裡に終わったが、奉仕体験を根付かせる為に今後ロータリークラブの継続事業とすることが合意されています。

エ) 学校へのアプローチの方法について。

教育問題については、ロータリークラブはいままで、どちらかといえば傍観者的立場でありました。ロータリーとして各学校に対するアプローチのルートとしては、各ロータリークラブには、医師会、歯科医師会、薬剤師会のいわゆる3師会の方々が会員になっている場合が多い。この方達は学校医として、また学校歯科医として、また学校薬剤師として昔から小中学校の健診や相談事業に携わると共に、小中学校の行う「学校保健委員会活動」の重要メンバーとなっていますので、この方達の協力が学校当局を動か



すのに大いに与って力となるはずであります。

また、若いロータリアンの中には、PTAの役員をしておられる方がおられるなら、学校へのコンタクトは一層便利でありましょう。

オ) 総合学習の活用として課外活動への参加

NHKの評判番組の中に「課外授業」“ようこそ先輩”というテレビがあります。総合学習の活用例として、これは大変参考になります。そこに登場する児童生徒の目の輝きには、驚かされます。総合学習の利点は、まさにそこにあるといっても過言ではないでしょう。

地域に在住している専門的知識集団と考えられるロータリークラブの会員が、その知識や特技を活かして小中学校の課外授業の御手伝いができるならば、これこそ理想的な教育的支援と言えます。

学校医や、学校歯科医の場合は少なくとも毎学期1回、学校で開催される学校保健委員会で、先生や生徒さん達、PTAの方達と一緒にディスカッションする機会を持っているが、一般のロータリアンにも是非、地域有志代表として、学校保健委員会に参加する機会を持って頂きたいと考えております。

カ) ロータリーの「青少年育成委員会」構想について

ガバナー会では青少年育成委員会を設置して教育問題に当たるという素晴らしい

考え方を提示しました。まずロータリアンに学校評議員になっていただく事、職場訪問や、学校教育の現場で非常勤講師として参加していただく事を提唱していますが、後者は私達の課外授業参加の考え方と同じであります。2840地区では、既にこの青少年育成委員会に当たるものとして、社会奉仕委員会の中に青少年教育問題委員会が設置されています。この委員会活動の対象は、小中学生のみならずインター、ローターを含めた青少年の教育を幅広く扱う委員会として考えられており、新世代委員会とダブる事が多いのですが、現在はあくまで社会奉仕委員会のなかで、新世代委員会活動と緊密な連携を取って行くことになっています。

元来、小中学校及び高校の教育は、文部科学省では初等中等局扱いとなっていることは御承知の通りです。

一方、地域には以前から「青少年健全育成活動」が定着しており、これは学校教育というより、社会教育（現在の生涯教育局）の領域であります。例えば、ボーイスカウト活動は、学校教育というよりは社会教育の領域とされており、学校教育とは距離がありますが、我々が新しく目指すものは、学校教育の中に入って教育のなかでも「授業」と連動した支援活動が求められているので、むしろ、初等中等局扱いの活動が求められていると言えます。

青少年育成という文字から受ける感じで、「青少年育成活動は自分の地域では、

とっくの昔から社会教育の場でやっているよ」といった認識がありとするならば、これを改めていただく必要があります。

キ) おわりに

次代を担う子供達の教育の現状には憂うべきものが余りにも多い。不登校の子供達は年々増加し、いじめ、学級崩壊、性の逸脱行動、喫煙や薬物乱用などの対策は、私の関係する学校保健の領域でも重要課題となっています。

今や、子供達の教育には学校のみならず、家庭と地域三者の緊密な連携の必要性が叫ばれています。

地域における有識者の団体と目されているロータリークラブが、自分達の属する地域の子供達の教育に積極的に参加し、協力することは、私たちの住む地域社会の強い要望であると捉えてよいであります。

以上、今月号で私の月信も終わりますが、冒頭に申し上げましたように編集子から題字を毎号毛筆で書く様に指示されましたので、恥を顧みず、何とか1年、責を果たす事ができました。また、毎号のロータリーのトピックスの他に「ロータリーの奉仕と地域福祉」1～10を、書かせて頂きましたが、これは我が国の地域福祉の実状は欧米の先進国に比べて遅れている実態について歴史的経過を説明しながら、数名の先覚者を紹介させて頂きました。これが

らのロータリーの奉仕は、その遅れを補完する為に積極的な努力が求められているのではないだろうかと言うのが、私の真意であります。尚、この最終号ではロータリーに対する私の日頃の考えと、ガバナーとして私の教育問題への取り組みについて、改めて纏めさせて頂きました。

最後に我が国のロータリー、および2840地区の発展を心から御祈り申し上げます。



RID 2840 教育問題講演会 「こども達の教育はいま!!」

- ・日時：2003年4月29日（祝）午後1時～4時
- ・場所：群馬県民会館 小ホール

挨拶：RID 2840 ガバナー 矢野 亨

司会：RID 2840 社会奉仕委員長 塚越裕子

< 講師と演題 >

北村邦夫先生 （社）日本家族計画協会クリニック所長

「若者達の"性"が危ない」

明石要一先生 千葉大学教育学部教授・付属教育実践総合センター長

「教育からみた"食"と"街づくり"」

富岡賢治先生 前文部省生涯学習局長・群馬県立女子大学長

「いま、教育の在り方を問う」

- ・主催 / 国際ロータリー第2840地区ガバナー・社会奉仕委員会・新世代奉仕委員会
- ・後援 / 群馬県教育委員会・群馬県学校保健会・ぐんま思春期研究会
群馬県小児科医会・群馬県小中学校PTA連合会・
群馬県高等学校PTA連合会・上毛新聞社・群馬テレビ



左記のとおり、矢野ガバナー年度強調事項の、教育への取り組みの一環として、教育界をリードする3名の先生方をお招きし、次世代を担う子ども達の教育について、講演会を開催しました。

2月から準備に入り、教育関係各方面にも広く呼びかけて後援して戴き、地区内各ロータリークラブの協力、上毛新聞

社、群馬テレビ等の後援も得て、誠に意義ある講演会になりました。

ロータリークラブ会員約200名、会員外約100名、合計約300名の参加者は3名の講師の講演に熱心に聞き入り、講演後の質疑も活発な発言がありました。



講演の内容としては、

北村先生の「若者達の"性"が危ない」では、パソコンとビデオプロジェクターを使って、正面一杯に統計資料を映写して説明し、高校生の"性"の実態を明らかにすると共に、高校生の立場にたったの避妊法や性感染症を防ぐ方法等まで言及しました。

明石先生の「教育からみた"食"と"街づくり"」では、今の若者は新人類と言われるように、1)食べっぷり、2)遊びっぷり、3)付き合いっぷりの三つが弱いということを取り上げ、それを改善するにはどうしたらよいか。間食をやめて、おやつ文化の復活を奨励、早寝・早起が非行防止につながること、通学合宿のすすめ等々を力説しました。

富岡先生の「いま、教育の在り方を問う」では、子供達はなぜ勉強しないのか、それは目的がないからだということに始まり、子供の良いところを見つけて、ほめてやるのが大切、授業を面白くすることも必要、又、意図的に、人間関係を豊かにするような子供達の環境を作ってやるのが大事だが、それにロータリークラブの援助が欲しい、そして体験学習の必要性も強調しました。

この講演会によって、次世代を担う子ども達の教育について、我々大人達は何をしたら良いか、ロータリークラブとして何が出来るか、いろいろと考えさせられる講演会でした。

金子福松記（社会奉仕担当副幹事）



地区協議会の報告



地区協議会実行委員会
実行委員長 相崎正一
統括委員長 宮下博躬

国際ロータリー第2840地区2003-2004年度地区協議会は、雨上がりの緑したたる中、浜川市民会館を会場に5月18日(日)に開催されました。人口5万人弱の地方の市での開催とあって、参加申込者600人を越える方の分科会の会場に制限があるため、従来の八分科会8会場を、今回は二分科会を合同で行い6会場として、一つ屋根の下で動線もコンパクトにと企画しました。

県内47ロータリークラブの参加者は、受付時刻前から続々とおいでくださり、広いロビーも再会談笑の場となり定刻午前10時30分、パストガバナーはじめ役員ご臨席のもと開幕されました。

次年度に向けての研修会であるため、森田ガバナーエレクトの次年度方針には、比較的時間に時間をあて、第2840地区の強調事項について7項目を説明していただきました。

- 1、思いやりの心で「手を貸そう」
- 2、皆で魅力ある21世紀のロータリー

作りを

- 3、小クラブの充実・発展
- 4、退会防止
- 5、女性会員の増強
- 6、広報活動の推進
- 7、RI2004年度国際大会(関西)の推進

プログラム通りの進行で分科会に移動し、カウンセラー、ガバナーエレクト、大委員長のもと、ロータリーのかかえる現下の問題について解説、質疑が行われました。

分科会は、今回前半後半の1時間ずつの計2時間で、圧縮された中でも、充実した分科会であったと思われます。分科会の中に45分間の昼食時間をあて、コンパクトな弁当箱を片手に、中庭で北毛の5月の風を肌を感じていただくひとときもありました。

午後の分科会報告は、大委員長8人から要約を発表していただき、10月の地区大会実行委員長、来年5月の地区協ホストクラブ会長のご挨拶をいただき、とどこおりなく予定のプログラムを終了することができました。

地区協の目玉の懇親会は、会場の関係で、市内のプリオパレスへ頻回にバスを廻し移動していただきました。大宴会場もにぎやかに熱気がむんむんとあふれ、フィナーレの「手に手つないで」では、会場いっぱいの輪になる程の盛況でした。

天候に恵まれた充実した一日であったと思います。ご参加下さった方々に、「よかった」と言っていたら、担当クラブ会員一同望外のよろこびです。

女性会員増強セミナー



開催日・時間 2003年 5月25日
10:00 ~ 14:00

会場 桐生プリオパレス

出席者

榊原節子様 (2750 地区ロータリー女性委員会委員長)

曾我隆一クラブ奉仕委員長、

菊地雅子女性会員特別増強委員長、
他地区役員

女性会員 20 名、計 32 名

報告事項

2750 地区ロータリー女性委員会委員長榊原節子様 (東京恵比寿 RC パスト会長) を講師としてお迎えし、第 2840 地区第一回女性会員増強セミナーを開催。曾我隆一クラブ奉仕委員長、菊地雅子女性会員特別増強委員長の挨拶及び役員紹介、工藤恵女性会員特別増強委員の司会で開会。

「ロータリー活動における女性の役割」と題して講演を戴く。

榊原様の職業上の深い海外経験を踏まえての重厚な内容。世界各国ロータリークラブメイクあれこれ、国内ロータリー

クラブ女性会員入会卓話の各クラブ男性会員反応あれこれ、東京恵比寿 RC は 50 名以上の女性会員 (男性会員半々とのこと) 私達 2840 地区内の女性会員同数とは驚きです。ともあれ第一回女性会員増強セミナー開催の意義は各会員の発言内容も充実し、稲木愛子森田ガバナー年度女性会員増強委員長のロータリー 100 周年に 100 名目標の力強い宣言で終了。

堀口信行記 (クラブ奉仕担当副幹事)



2002～2003年度RID2840
第3回ロータリーの森づくり
植樹事業実施



RID2840社会奉仕委員会の環境保全対策の一環として、今年度が3回目の植樹事業が実施されました。

植樹事業は、2003年5月11日(日)、沼田中央ロータリークラブの主管で、県立森林公園「21世紀の森」で行われました。当日、午前9:30集合、10:00セレモニー、そして植樹作業、昼食も含めて12:00頃終了しました。総参加人員は矢野ガバナーをはじめ、地区内47RCの会員・家族、約180名でした。又、群馬県林務部緑づくり推進センター所長の田村孝夫様もお見えになり、ご挨拶をいただきました。

現地での天候は薄曇りで、時々薄日が差し、適度の気温、清々しい空気の中で、心地よい汗を流しながら、緑づくりの大切さを実感することが出来ました。

因みに、植樹した樹木の規格等は次の通りです。

オオヤマザクラ(10年もの)25本
地上部の高さ 3m

地上1.2mの幹周り 10cm

枝張りの幅 60cm

イロハモミジ(10年もの)25本

地上部の高さ 2.5m

地上1.2mの幹周り 12cm

枝張りの幅 1m

水芭蕉(3年もの)50株

終わりに、この植樹事業を主管されました沼田中央ロータリークラブの野中隆夫会長、真庭博社会奉仕委員長をはじめ会員御一同様の御労苦に対し、深く感謝申し上げます。

又、当日御参加下さいました地区内47RCの会員・家族皆様の御協力、誠に有難うございました。

金子福松記(社会奉仕担当副幹事)

館林ロ-タリ-クラブ・創立45周年記念例会を終えて

館林ロ-タリ-クラブ 堀口 一宇



戦後の復興から高度成長への過度期、東毛の地に足利ロ-タリ-クラブのご尽力により、昭和33年4月16日に26名のチャ-ターメンバ-で設立されました。爾来45年の間、多くの先輩ロ-タリアンの方々は輝かしい歴史と伝統を代々受け継がれ、本日創立45周年の記念例会を迎えることができました。

地区ガバナ-・矢野亨様、館林市長・中島勝敬様をはじめ、ご来賓の各位、近隣のロ-タリアン、会員の奥様方とご出席を賜り、盛大にお祝うことができ、又2220回例会という節目を迎え一層記念すべき日となりました。

式典は、50周年を控えていますので第4分区内の会長・幹事、ご来賓の皆様、関係各位、会員の家族と、食事・音楽・会話を楽しむ記念例会という型をとりました。

記念事業として、館林市民祭の一環として「動物とのふれあい」というコーナーを設け子供達と動物と楽しい一日を過ごしました。また、館林城沼のほとりに記念植樹を行い樹高4メートル程の桜の木を植え、市民の憩いの場となりました。

当RCの歴史を振り返りますと、先輩諸

氏が残して下さいました業績はなにより、館林西RC、館林東RC、館林ミレニアムRCと3つのクラブのスポンサ-としての責任を果たし、地域におきましては、21世紀を担う青少年の健全育成を目指して、かつては日本一の人数を誇る館林高校のインタ-アクトクラブ、現在は活動が停滞しておりますが館林ロ-タ-アクトクラブの活動を、30年支援して参りました。そして、創立5年目に館林青年会議所を設立し、今年で40年の節目を迎えることができました。

また、国際奉仕の面では、当クラブ独自の夏期交換プログラムを組むなど、その活動を通じてお互いの国の理解と親睦を深めて来た事など、数々の足跡が記されております。

中国の諺に「飲水思源」という言葉があります。同じ井戸の水を飲む者は、その井戸を掘った人の苦勞を忘れてはならないという意味です。改めて、当初のスポンサ-クラブの足利RC、チャ-ターメンバ-、歴代の会長・幹事をはじめ会員諸兄のご努力に深く感謝申し上げます。また、その活動を陰で支えて下さった奥様方に心より御礼申し上げます。

この例会を機に本年度のテ-マであります「慈愛の種を播きましょう」を心に深く銘記し、新たなる目標に向かって邁進すると共に、この混沌たる社会状況の中で、世界の平和を希求し、自らの職業奉仕を高めていくことを展開していく所存です。今後一層のご指導ご鞭撻をお願い致します。



富岡 R C 創立 40 周年記念・記念事業報告

富岡ロータリークラブ 広報委員長 雨宮 肇



1963年、高崎ロータリークラブをスポンサーとして創立させて頂きました富岡ロータリークラブも、幾多の紆余曲折を繰り返しながら、ここに40周年という歴史をきざむことが出来ました。

2003年5月11日の母の日に、記念式典並びに記念祝賀会が出来ましたことは、ロータリアンとして忘れ得ない一日になったと思います。

わけても矢野亨ガバナーには、心あたたまるご祝辞を賜り、親睦と奉仕を強く根付かせて頂きました。

母の日の母の愛情のように、富岡クラブを見守って下さっておりますご来賓の皆様方、それに加え、2840地区から290名におよぶ親愛なるロータリアンの皆様方のご参加を得て、盛大に、そして厳粛に行事が進みましたことは友情の深さであり、各クラブとの絆の深さと思います。

この40周年の記念事業としまして、公立富岡総合病院の北門に、「さくらみち」と名付け、八重桜18本の植樹を行いました。この「さくらみち」は富岡ロータリー

クラブの記念碑として石に刻み、永遠に多くの住民、そして総合病院の患者さんの心の癒しになろうかと思えます。

富岡ロータリークラブは益々気力の充実をはかりながら、50周年に向けて、奉仕の理想を鼓吹していきたいと思えます。

新田ロータリークラブ創立20周年記念式典報告

新田ロータリークラブ 会長 梶塚 健一



新田ロータリークラブは、1983年5月、太田西ロータリークラブをスポンサークラブとして発足し、本年5月創立満20年を迎えることができました。

5月10日創立20周年記念式典を挙げるにあたり、新田町山崎町長ならびに関係機関の方々、R12840地区矢野ガバナー、同じく須永アシスタントガバナー、姉妹クラブ福井南ロータリークラブ滝波会長以下25名の会員の方々、そして地区内及び近隣クラブの会長、幹事、会員の皆様総勢120名余の出席のもと開催することができました。

特に福井南クラブには、姉妹クラブの姉クラブとして、各般に亘り指導と鞭撻を受けてきましたが、今回多数の会員の出席により、一層の親睦を図ることができ、相携えて地域ならびに国際社会に貢献することを誓い合うことができました。

新田ロータリークラブは、今日に至るまで

- ・青少年国際交換学生派遣、受入
- ・インターアクトクラブの創立

・地域社会奉仕活動の充実
等の事業を重点に活動してきましたが、この20周年を大きな節目として活動強化を図ることと致しました。

また、当クラブは昨年3月台湾北斗ロータリークラブと友好クラブの締結をし、今回来訪の予定でしたが、諸般の都合で延期されましたが、今後一層交流を深め、国際社会にも貢献して参ります。



交換派遣学生オリエンテーション 会議報告

青少年交換委員会

委員長 天笠 博(館林ミレニアムRC)



開催日・時間 2003年5月5日
14:00~16:30

会場 ガバナー事務所 会議室

出席者

青少年交換委員長 天笠博

委員 難波伸男

事務局 吉田真理子

G事務所 近藤みゆき

一年交換留学生

ケテリン ゴームリー

(学生4名)板橋 葵・富澤 愛

神保 亜耶・竹内 詩織

(保護者7名)板橋 京子・富澤 滋

富澤 佳恵・神保 光彦・神保 暁美

竹内 隆美・竹内 美也子

(渡航説明1名)はなやまツーリスト

松本 和雄

報告事項

14時より1時間、ツーリスト会社の松本さんより、渡航手続きに関する説明がなされた。折からのテロ、イラク情勢の影響で留学ビザ申請の書類等が変更されており、従来よりも日数がかかる模様。6月初旬までに全ての書類を用意す

るべく、必要書類リストが学生に渡された。細かな説明を、保護者とともにしっかり時間をかけ行った。あわせて、委員会より相手4地区の受入準備状況につき、それぞれ説明を加える。3時のお茶をはさみ、学生・保護者の2グループに分け、学生たちには、前回彼らに出された宿題である・英語によるホストファミリーへの質問例を中心に、想定される日常の留学生活での注意点等を話題に、熱心な質疑応答がなされた。現在当地区で、米国5100地区(オレゴン)より1年交換学生として受け入れている、ケテリン・ゴームリー嬢にアドバイザーとして加ってもらい、現在の米国における高校生活の予備知識等も具体的に説明する事が出来た。保護者達には、ロータリー交換学生の基本的なルールを改めて説明し、学生達の守るべきルールに対し更に理解を深めてもらった。また、今回は偶然にも、それぞれの保護者家庭が、受け入れ学生達の、ファーストホストファミリーを受けていただく事となっている。このため、ホストファミリーとしての役割、心構え、トラブル対処法等を地区委員会の立場でお願いを兼ね説明し、質疑応答も行った。当初、全体で一時間半程度のオリエンテーションの予定であったが、学生・保護者より真剣な質問等も活発に出されたため、一時間ほど時間延長をし、充実した内容となり、より多くの情報も伝えられたのではないかと思う。6月に第3回の最終オリエンテーションを予定しているが、学生達がよりスムーズに留学生活に入れるよう、委員会で内容について十分に準備をして行きたく思います。

米山学友会観桜会報告

学友会会長 大路 潔江

開催日：4月19日

会場：沼田公園・運動公園

参加者：横山委員長、林会長、張 巍、
陸 怡安、陳 臻諭、倪 鏡、黄 学群、
大路 潔江

報告事項

今回の観桜会は、参加者がそれほど多くなかったことは残念ですが、久々に会員とロ-タリアンとで楽しいひとときを過ごせたことは、良い思い出となりました。特に、渡米予定のメンバーとも会うことができ、彼女も仲間から暖かい声援を受けて日本での再会を約束してくれました。

皆様のご協力に対し、心より感謝申し上げます。

今後一層のご指導ご支援をお願いいたします。



新規米山オリエンテーション報告



開催日・時間：2003年5月25日

11:00 ~ 13:30

会場：群馬ロイヤルホテル 9階

出席者：

矢野亨G、高木貞一郎米山理事、
横山公一米山委員長、
野辺昌弘米山増進委員長、
堀口靖之米山委員、
仙田一夫次期地区幹事、
大路潔江米山学友会会長、
片貝良一副幹事、
戸鹿野栄一次期副幹事、
米山カウンセラー、米山奨学生

報告事項

1. 挨拶及び役員紹介
米山奨学委員長 横山公一
2. 挨拶 ガバナー 矢野 亨
3. 挨拶 米山学友会会長 大路潔江
4. 米山奨学会説明
米山奨学会理事 高木貞一郎
5. 奨学生挨拶 ウエイ・リー
6. 昼食
7. 確約書記入、署名 横山公一
8. 4、5月奨学金交付 高木貞一郎
片貝良一記(米山奨学担当副幹事)



新旧AG・8大委員会引継会議



開催日・時間 2003年5月24日
会場 群馬ロイヤルホテル
出席者 AG、大委員長、
地区役員総勢95名

報告事項

AG引継会議11名全員出席のもと8F別室にて17:00～18:00迄。各委員会は委員会別に17:30～18:00で引継会議終了。

続いて懇親会、根本地区幹事の矢野ガバナー2002～2003年度への御協力に感謝の挨拶で始まり、新旧地区役員さんの安堵の顔と期待にこたえる真剣な顔とが入り交じって和やかな雰囲気の中、仙田地区幹事の森田ガバナー2003～2004年度への御協力要請の閉会挨拶で終了。

堀口信行記(クラブ奉仕担当副幹事)

謹んでご冥福をお祈りいたします



角田 勤殿

沼田ロータリークラブ
2003(平成15)年5月16日
肝臓ガンのため否天。73歳5ヶ月
職業分類:小児科医
事業所:(医)角田医院
ロータリー歴:
1969(昭和44)年7月入会
会長(1988年7月1日～
1989年6月30日)
ポールハリス・フェロー
ベネファクター
マルチプル・フェロー
ロータリー財団大口寄付者表彰

新会員紹介



中村 研司

館林ロータリークラブ
入会日:2003年3月7日
職業分類:仏教
勤務先:(宗)観性寺
役職:副住職
推薦者:堀口一字・小暮達也



根岸 誠一

館林ロータリークラブ
入会日:2003年4月4日
職業分類:建設業
勤務先:日総建設(株)
役職:社長
推薦者:堀口一字・栗原袈裟雄



寺内 一郎

高崎北ロータリークラブ
入会日:2003年5月7日
職業分類:火災保険
勤務先:あいおい損害保険(株)
役職:群馬支店長
推薦者:滝沢 政吉



大和田 重朗

高崎北ロータリークラブ
入会日:2003年4月2日
職業分類:自動車小売
勤務先:(株)ヤナセ群馬
役職:取締役社長
推薦者:滝沢 政吉・山口 乾



湯浅 満

高崎北ロータリークラブ
入会日:2003年4月2日
職業分類:信用金庫
勤務先:高崎信用金庫
役職:本店営業部長
推薦者:藤井 秀久・荒瀬 宏・
秋本 格摩



前橋ロータリークラブ
入会日:2003年4月15日
職業分類:皮膚科
勤務先:望月皮膚科医院
役職:理事長
推薦者:生方 璋

望月和子



桐生西ロータリークラブ
入会日:2003年5月9日
職業分類:幼稚園園長
勤務先:
マイトリー学園大間々南幼稚園
役職:園長
推薦者:根本 正則

岩間恒子

..... 文 庫 通 信 (1 8 8 号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブの事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

先輩ロータリアンの主張から(2)

「ポール・ハリス ロータリーへの道」 チェスリーR・ペリー
ロータリーの友:1968・2月 4p

「会長独白」 佐竹郁夫 1978 8p

「短いロータリーの話」 大阪RC 1972 14p

「ロータリーにおける小さな教訓」 チャールスG・テネント
若松徳衛訳[1979] 4p

「ポール・ハリスの口授」 中西進 1985 2p

「新人のためのロータリー情報」 佐々木統一郎 7p

「道と術」 佐々木統一郎 3p

「多種多様の中の調和と個人の確立」 佐々木統一郎 1971 11p

「ロータリー発祥の背景」 佐々木統一郎 1975 19p

「献身的ロータリアン群像」 松本兼二郎
ロータリーの友:1979・1月 8p

「" 発見 " の歴史を回顧する ロータリー創立80周年にあたって」
ジョー・ニュージェント ロータリーの友:1985・2月 5p
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階

TEL.(03)3433-6456 FAX.(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

第 2 8 4 0 地区 2 0 0 3 年 4 月 出 席 報 告

クラブ数	会員数				
	4月初	4月末日	純増減会員数	女性会員数	当月平均出席率
47	2,356	2,360	4	58	85.81

第	分	区	クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				第	分	区	クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数			
						月初	月末	増減	女性							月初	月末	増減	女性
1	分	区	前橋	4	94.62	97	98	1	2	3	分	区	富岡中央	3	94.45	44	44	0	1
			前橋西	4	98.57	69	70	1	0				高崎ソフオー	4	79.26	52	51	-1	3
			前橋東	5	91.24	71	71	0	0				碓氷安中	4	72.32	30	28	-2	3
			前橋北	4	90.21	62	62	0	3				高崎セントラル	4	67.68	43	43	0	0
			前橋南	4	91.47	40	41	1	0				藤岡南	4	88.55	37	37	0	4
			前橋中央	5	88.11	39	39	0	5				富岡かぶら	4	66.91	33	34	1	1
			合計(6クラブ)		92.37	378	381	3	10				合計(14クラブ)		83.73	678	675	-3	21
2	分	区	桐生	4	76.50	67	67	0	0	4	分	区	太田	4	85.8	96	96	0	0
			伊勢崎	4	88.24	74	74	0	0				館林	4	90.91	59	60	1	0
			桐生南	4	75.22	53	53	0	2				大泉	4	80.77	56	56	0	2
			群馬境	4	87.20	47	47	0	3				太田西	4	82.05	40	40	0	1
			桐生西	4	93.89	65	65	0	0				太田南	4	92.60	54	54	0	0
			伊勢崎中央	4	89.17	63	63	0	0				館林西	4	80.21	29	29	0	0
			伊勢崎南	4	83.93	42	42	0	1				新田	5	85.38	34	34	0	0
			桐生中央	4	70.39	38	39	1	5				館林東	5	84.67	32	32	0	1
			伊勢崎東	4	91.66	37	36	-1	1				太田中央	4	84.20	34	35	1	2
			桐生赤城	4	92.27	42	44	2	2				館林レニアム	4	87.49	32	32	0	0
			合計(10クラブ)		84.85	528	530	2	14				合計(10クラブ)		85.41	466	468	2	6
3	分	区	高崎	3	75.84	73	73	0	0	5	分	区	渋川	4	90.63	74	74	0	2
			高崎南	4	91.42	72	72	0	3				沼田	4	85.59	59	58	-1	0
			富岡	5	98.15	58	58	0	3				草津	4	87.00	29	29	0	2
			藤岡	4	92.28	58	58	0	2				水上	5	90.00	7	8	1	0
			安中	4	80.88	35	34	-1	0				中之条	4	74.00	28	28	0	1
			高崎北	4	84.41	62	62	0	0				沼田中央	4	91.27	64	64	0	0
			藤岡北	4	86.66	20	20	0	1				渋川みどり	4	85.71	45	45	0	2
			高崎東	4	93.42	61	61	0	0				合計(7クラブ)		86.31	306	306	0	7

6月の行事予定

- 6月1日～4日
 ブリスベン国際大会
- 6月15日 米山学友会総会
- 6月24日 米山第2回評議会
- 6月28日 第3回諮問委員会

**6月のロータリー・レートは
1ドル 116円です**

編集後記

ガバナー月信およびホームページを担当し、はたしてガバナーの意に添ったものができたかどうかと反省することもおおいのですが、なにはともあれ遅滞なく最終号まで発行することができました。いやな顔もせず原稿を書いていただいた役員各位、ならびに原稿の催促を一生懸命やってくれたガバナー事務所・女史に感謝しております。一年間ご愛読ありがとうございました。 ヤレヤレ。

月信・HP担当 羽鳥 隆